

## エピテーゼを使用する理由

### —実技・シリコンモデルを使用した外部彩色法—

エピテーゼ・ソマトプロテーゼとはただ単に「欠損部位をカバーする物」としてとらえるのではなく、エピテーゼ・ソマトプロテーゼを装着される方々（以下患者さん）の生活習慣・特異性を明確に認識し製作する必要があります。例えばフィンガープロテーゼ（義指）一つとっても、「いつ」「どこで」「何時間」使うのか、また使用の際接着剤は必要であるか…など様々な情報が得られなければなりません。なおかつ患者さんへ彩色を施す際は、現在の体調、化学療法等の有無、生活習慣、仕事、趣味など、なるべく多くの情報を収集し TPO に合わせた彩色を行うよう心掛けなければなりません。

また、本人しか目にしない部位、日常生活では他人から目に触れない部位、そういった部位になぜソマトプロテーゼが必要なのでしょうか。

本日は、製作過程での患者さんの心理変化エピテーゼ・ソマトプロテーゼを装着される方々（患者さん）なども含めた症例の紹介と、簡易的なシリコンモデルではありますが「フィンガープロテーゼ」の外部彩色～完成まで実技を兼ねた講義をしてまいりたいと思います。